

# 平成31年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成31年2月8日

上場会社名 ミヤコ株式会社

上場取引所 東

コード番号 3424 URL <http://www.miyako-inc.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 末田 勝

問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 松田 博幸

TEL 06-6352-6931

四半期報告書提出予定日 平成31年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成31年3月期第3四半期の業績(平成30年4月1日～平成30年12月31日)

### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	3,867	2.1	240	14.1	257	13.9	78	61.6
30年3月期第3四半期	3,787	4.1	280	28.1	299	29.3	203	31.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	28.56	
30年3月期第3四半期	74.37	

### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第3四半期	5,097	3,661	71.8	1,336.10
30年3月期	5,256	3,686	70.1	1,345.21

(参考)自己資本 31年3月期第3四半期 3,661百万円 30年3月期 3,686百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		10.00		15.00	25.00
31年3月期		10.00			
31年3月期(予想)				15.00	25.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成31年 3月期の業績予想(平成30年 4月 1日～平成31年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,240	0.5	350	21.0	368	20.5	158	37.9	57.66

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細につきましては、本日開示しております「繰延税金資産の取崩し及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

また、1株当たり当期純利益の予想数値は、当第3四半期会計期間末の発行済株式数(自己株式控除後)が当事業年度末まで同数であると仮定して算出しております。

## 注記事項

### (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 6「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

### (3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期3Q	4,587,836 株	30年3月期	4,587,836 株
期末自己株式数	31年3月期3Q	1,847,408 株	30年3月期	1,847,408 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期3Q	2,740,428 株	30年3月期3Q	2,740,428 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第3四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	6
(追加情報) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における住宅・非住宅向けの管工機材業界におきましては、住宅取得優遇制度の継続や、住宅ローン金利が引き続き低水準で推移しているものの、不動産向けの融資額の減少などにより、新設住宅着工戸数は緩やかな減少傾向が続いております。

このような状況のなか、当社では販売力の強化を推進するとともに、ユーザーニーズに応えた新製品やアイデア製品の開発、商品やサービスなどの情報発信力の強化、ニッチ商品の品揃えの充実などに取り組み、全社一丸となって収益の向上に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期累計期間における売上高は38億6千7百万円（前年同四半期比2.1%増）となりました。利益面では、営業利益は2億4千万円（前年同四半期比14.1%減）、経常利益は2億5千7百万円（前年同四半期比13.9%減）となり、四半期純利益は財務体質の健全化の観点から繰延税金資産の回収可能性につき慎重に検討した結果、繰延税金資産の取崩し額9千3百万円を法人税等調整額に計上したことで、7千8百万円（前年同四半期比61.6%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

流動資産の残高は、前事業年度末に比べて3千7百万円減少し、43億2百万円となりました。

これは主に、現金及び預金が1億6百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が1億1千5百万円減少したことによるものであります。

固定資産の残高は、前事業年度末に比べて1億2千1百万円減少し、7億9千4百万円となりました。

これは主に、投資有価証券の時価が下降したことや繰延税金資産を取崩したことによるものであります。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べて1億5千8百万円減少し、50億9千7百万円となりました。

#### (負債)

流動負債の残高は、前事業年度末に比べて1億4千8百万円減少し、13億3千1百万円となりました。

これは主に、未払法人税等が減少したことによるものであります。

固定負債の残高は、前事業年度末に比べて1千4百万円増加し、1億4百万円となりました。

これは主に、繰延税金負債を計上したことによるものであります。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べて1億3千3百万円減少し、14億3千6百万円となりました。

#### (純資産)

純資産合計は、前事業年度末に比べて2千4百万円減少し、36億6千1百万円となりました。

これは主に、利益剰余金が増加したものの、その他有価証券評価差額金が減少したことによるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

繰延税金資産の取崩しを行った影響により、通期の業績予想を修正致しました。詳細については、平成31年2月8日付「繰延税金資産の取崩し及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成30年12月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	1,631,941	1,738,650
受取手形及び売掛金	1,499,685	1,384,401
電子記録債権	396,431	416,602
商品及び製品	786,076	744,623
貯蔵品	3,954	7,393
その他	23,278	11,401
貸倒引当金	△600	△200
流動資産合計	4,340,768	4,302,873
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物(純額)	42,666	40,290
土地	273,897	273,897
その他(純額)	16,941	13,539
有形固定資産合計	333,506	327,728
無形固定資産	10,562	8,402
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	301,617	251,615
繰延税金資産	68,419	-
その他	202,341	207,695
貸倒引当金	△464	△464
投資その他の資産合計	571,913	458,846
固定資産合計	915,982	794,977
資産合計	5,256,751	5,097,851

(単位:千円)

	前事業年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成30年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	462,354	425,462
電子記録債務	578,267	535,162
短期借入金	200,000	200,000
未払法人税等	109,648	9,267
賞与引当金	42,000	21,000
その他	87,637	140,925
流動負債合計	1,479,908	1,331,818
固定負債		
役員退職慰労引当金	84,733	88,796
繰延税金負債	-	10,091
その他	5,670	5,670
固定負債合計	90,403	104,558
負債合計	1,570,311	1,436,376
純資産の部		
株主資本		
資本金	564,952	564,952
資本剰余金	119,774	119,774
利益剰余金	4,973,767	4,983,514
自己株式	△2,104,783	△2,104,783
株主資本合計	3,553,709	3,563,456
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	132,729	98,018
評価・換算差額等合計	132,729	98,018
純資産合計	3,686,439	3,661,474
負債純資産合計	5,256,751	5,097,851

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	3,787,500	3,867,698
売上原価	2,615,686	2,703,569
売上総利益	1,171,814	1,164,128
販売費及び一般管理費	891,398	923,131
営業利益	280,416	240,997
営業外収益		
受取利息	15	17
受取配当金	7,303	8,009
仕入割引	17,005	17,497
受取保険金	6,029	3,719
その他	4,157	3,824
営業外収益合計	34,511	33,068
営業外費用		
支払利息	383	394
売上割引	14,840	15,971
その他	506	40
営業外費用合計	15,729	16,406
経常利益	299,197	257,659
税引前四半期純利益	299,197	257,659
法人税、住民税及び事業税	95,400	85,600
法人税等調整額	-	93,802
法人税等合計	95,400	179,402
四半期純利益	203,797	78,257

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。